



証券コード：9861

For the People

**YOSHINOYA
HOLDINGS**

2026年2月期第3四半期

決算補足資料

株式会社吉野家ホールディングス 2026年1月7日

1. 2026年2月期第3四半期累計期間 実績

業績概要サマリー	P3
既存店売上高前年比	P4
セグメント別売上高・営業利益	P5~6
営業利益増減要因	P7
出退店・設備投資実績	P8~9
財務関連	P10

2. トピックス

	P12~14
--	--------

3. サステナビリティ

	P16
--	-----

Appendix

	P18~19
--	--------

業績概要サマリー

- ◆売上高（前年差+14,877百万円） …既存店の伸長および前期のM&Aによるラーメン事業拡大の純増等
- ◆営業利益（前年差▲116百万円） …原価率（前年差+2.1%）：米をはじめとする原材料価格高騰の影響
販管費率（前年差▲1.6%）：売上伸長に対して適正な管理による低減
- ◆当期純利益（前年差+15百万円） …円安による為替差益の増加（403百万円）
店舗の収益力向上に伴う減損損失の減少（150百万円）等
- ◆EBITDA（前年差+547百万円） …設備投資により前年以上で推移

(単位：百万円)

	2025年2月期 第3四半期累計期間		2026年2月期 第3四半期累計期間			
	実績	売上比	実績	売上比	前年差	前年比
売上高	151,751	-	166,628	-	+14,877	109.8%
売上原価	54,243	35.7%	62,977	37.8%	+8,733	116.1%
売上総利益	97,508	64.3%	103,651	62.2%	+6,143	106.3%
販売費及び一般管理費	91,832	60.5%	98,092	58.9%	+6,260	106.8%
営業利益	5,675	3.7%	5,558	3.3%	▲116	97.9%
経常利益	6,256	4.1%	6,144	3.7%	▲111	98.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,331	2.2%	3,346	2.0%	+15	100.5%
EBITDA*	10,721	7.1%	11,268	6.8%	+547	105.1%

※EBITDA：営業利益+減価償却費およびのれん償却費

既存店売上高前年比

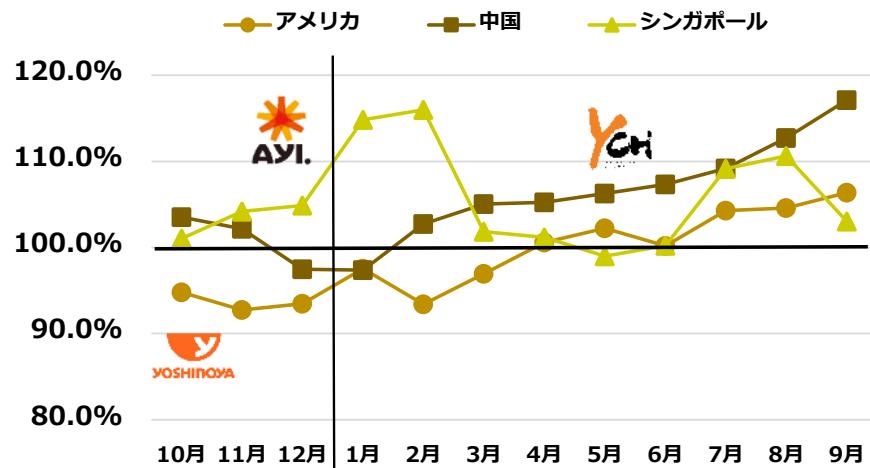
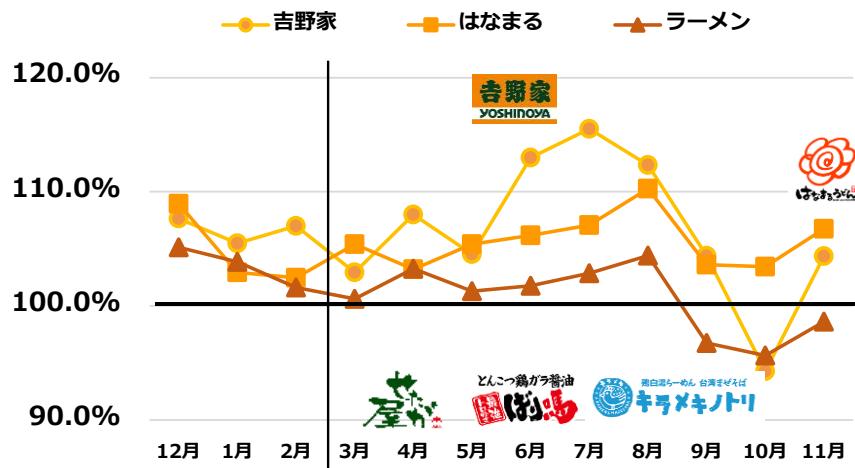
【国内】 吉野家の前年10月の牛丼祭の反動およびラーメン事業の未達により中間期までの成長に比べ緩やかな伸長

【海外】 海外はアメリカの復調および中国の堅調な推移など全てのエリアで前年実績を上回る

	第1四半期	第2四半期	9月	10月	11月	第3四半期	第3四半期累計
全社	104.0%	110.9%	104.1%	97.3%	105.1%	102.1%	105.6%
吉野家	105.1%	113.6%	104.4%	94.3%	104.4%	100.8%	106.5%
はなまる	104.7%	107.9%	103.6%	103.4%	106.8%	104.6%	105.8%
ラーメン	101.7%	103.1%	96.8%	95.7%	98.6%	97.0%	100.6%

	第1四半期	第2四半期	7月	8月	9月	第3四半期	第3四半期累計
海外合計	98.1%	101.7%	104.8%	107.5%	108.6%	106.9%	102.3%
アメリカ	96.0%	101.0%	104.3%	104.6%	106.4%	105.0%	100.7%
中国	101.6%	106.3%	109.2%	112.7%	117.1%	112.6%	107.2%

※海外は決算期が1月～12月であり、現地通貨ベースで表出

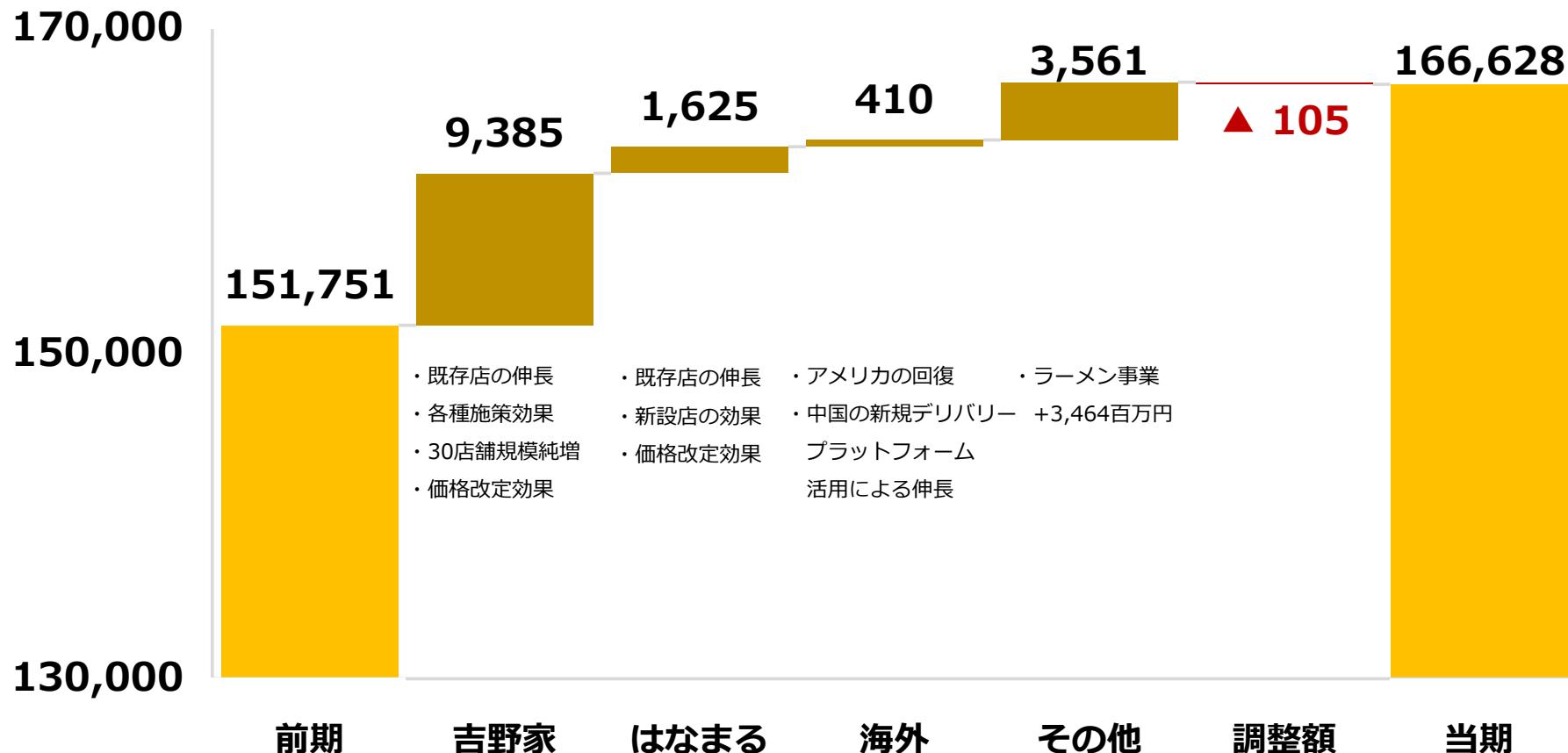


セグメント別売上高

◆全セグメントで增收

前年比…吉野家 109.2%・はなまる 107.0%・海外 101.9%・ラーメン 168.6%

(単位：百万円)

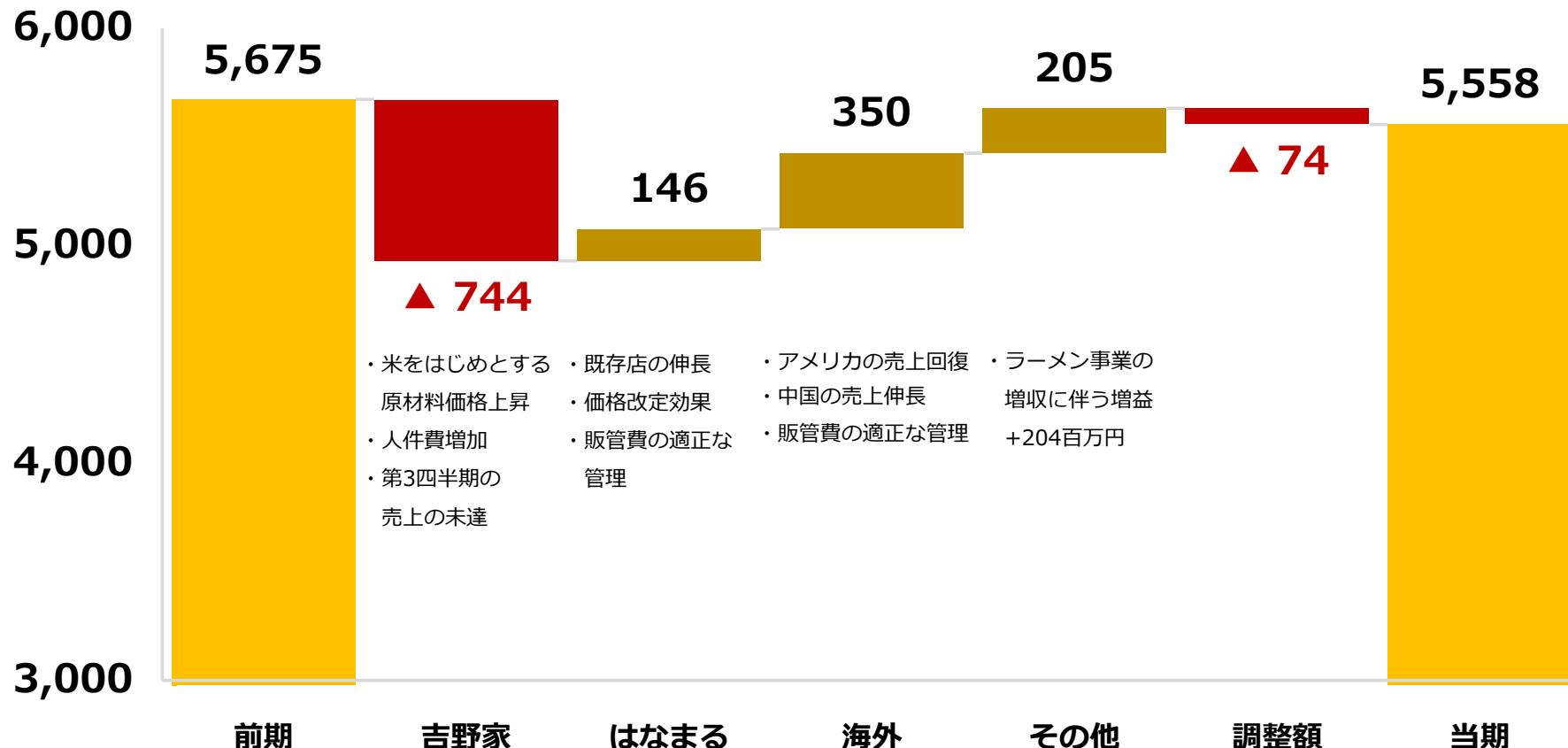


セグメント別営業利益

◆吉野家は第3四半期に前年を下回るも他のセグメントは堅調に推移

前年比…吉野家 87.0%・はなまる 108.0%・海外 130.5%・ラーメン 185.2%

(単位：百万円)

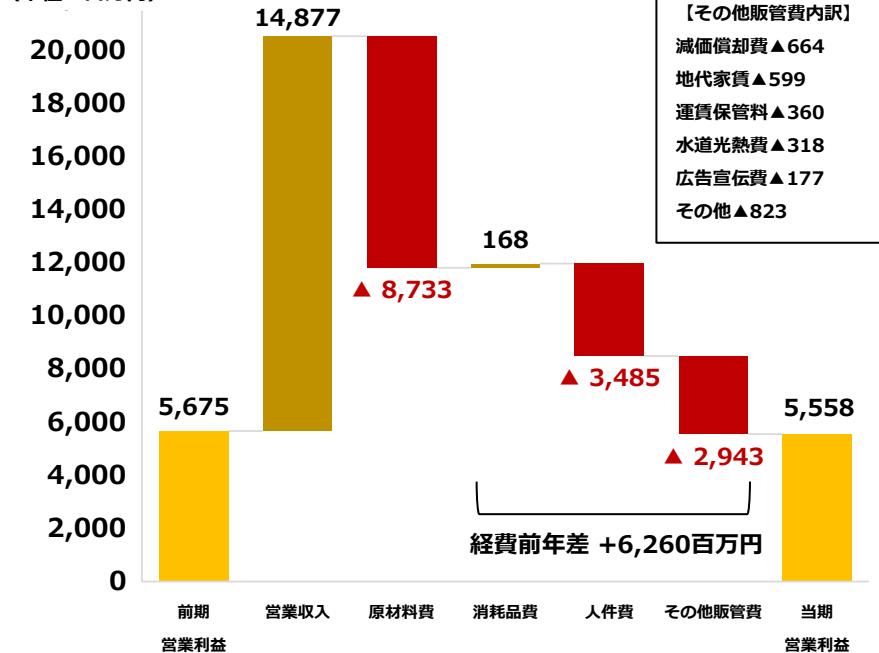


営業利益増減要因

【営業利益前年差▲116百万円】

【営業利益の増減：金額】

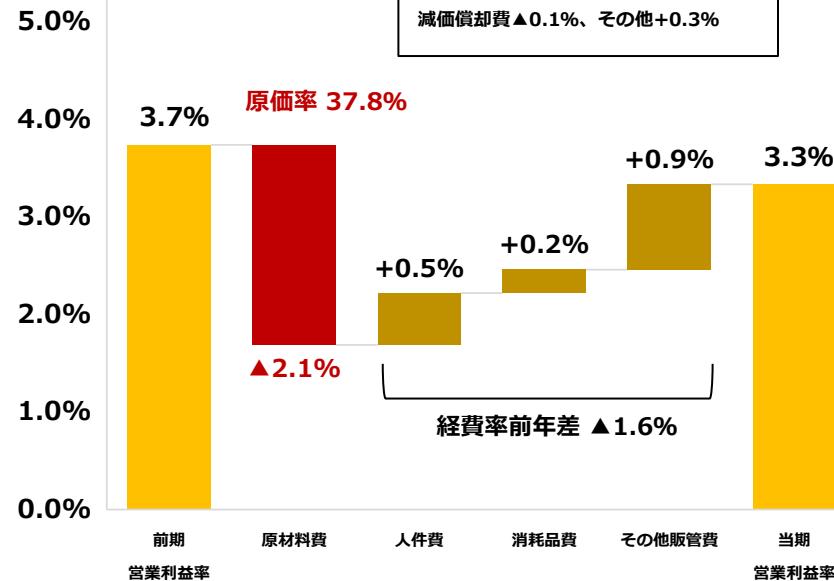
(単位：百万円)



【営業利益率前年差▲0.4%】

【営業利益率の増減：売上比】

【その他販管費 内訳】

 地代家賃+0.3%、水道光熱費+0.1%、
 運賃保管料+0.1%、広告宣伝費+0.1%、
 減価償却費▲0.1%、その他+0.3%


営業利益額
増加要因

- ・ラーメン事業のM&Aによる効果（前期グループ入り）
- ・海外の第2四半期からの復調の効果
- ・前期の一過性の経費の影響

低減要因

- ・原材料価格高騰
- ・人件費増加（賃上げ、店舗の時給改定）の影響
- ・吉野家の第3四半期の売上の未達

営業利益率
増加要因

- ・売上伸長に対し適正な管理による販管費の低減
- ・前期の一過性の経費の影響

低減要因

- ・原材料価格高騰

- 【吉野家】** 新サービスモデル店は出店および改装により36店舗増加
- 【はなまる】** 大都市圏の拡大に向け狭小モデルを都内に出店
- 【海外】** 中国で第3四半期に26店舗出店し年間計画を達成
- 【ラーメン】** グループのリソースを活用し中国上海に出店

	前期末	出店	退店	転換	第3四半期末	増減	出店年間計画	進歩率
吉野家	1,259	37	14	-	1,282	+23	57	64.9%
既存モデル	668	3	10	-12	649	-19	2	150.0%
新サービスモデル	540	24	-	12	576	36	16	150.0%
テイクアウト・デリバリー専門店	44	3	4	-	43	-1	30	10.0%
新業態等	7	7	-	-	14	7	9	77.8%
はなまる	415	13	8	-	420	+5	28	46.4%
海外	998	73	58	-	1,013	+15	72	101.4%
アメリカ	101	1	-	-	102	1	2	50.0%
中国大陸、香港	632	52	45	-	639	7	40	130.0%
東南アジア	220	18	11	-	227	7	28	64.3%
その他	45	2	2	-	45	0	2	100.0%
その他	149	9	7	-	151	+2	18	50.0%
ラーメン	124	8	6	-	126	2	17	47.1%
その他	25	1	1	-	25	0	1	100.0%
グループ計	2,821	132	87	-	2,866	+45	175	75.4%

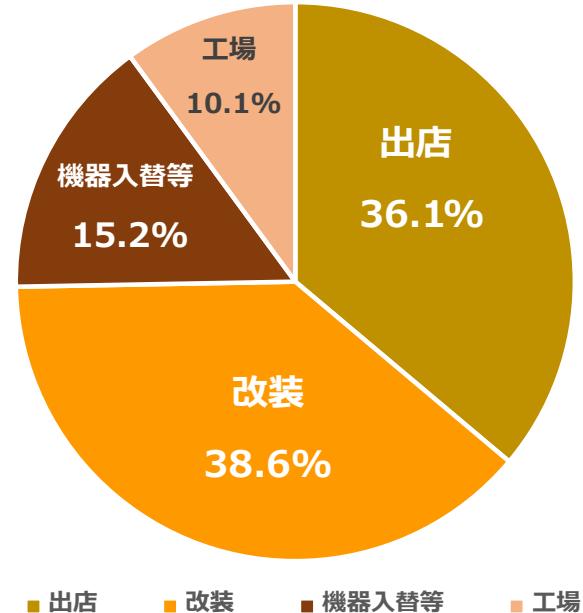
【設備投資実績内訳】

	前期 第3四半期累計	当期 第3四半期累計	増減
吉野家	6,118	4,440	-1,678
出店	1,836	1,875	39
改装	3,675	1,753	-1,922
機器入替等	607	811	204
はなまる	968	1,298	331
出店	400	705	305
改装	549	523	-26
機器入替等	18	69	51
海外	1,530	1,145	-385
出店	291	294	3
改装	1,205	827	-378
機器入替等	34	25	-9
その他セグメント	260	153	-107
出店	153	79	-74
改装	82	51	-31
機器入替等	25	24	-1
工場	803	823	20
本部等	276	316	40
グループ計	9,954	8,175	-1,779

(単位：百万円)

年間計画	進捗率
6,192	71.7%
2,184	85.9%
2,582	67.9%
1,426	56.9%
2,420	53.6%
1,514	46.6%
597	87.7%
309	22.4%
2,119	54.1%
955	30.8%
900	91.9%
264	9.3%
273	56.1%
247	32.0%
21	240.8%
50	47.0%
1,100	74.9%
896	35.2%
13,000	62.9%

【設備投資種別構成比】



【出店・改装状況】

	前期 第3四半期 累計	当期 第3四半期 累計	増減	年間計画	進捗率
出店合計	2,680	2,954	273	4,900	60.3%
改装合計	5,511	3,154	-2,357	4,100	76.9%

財務関連

【貸借対照表】

(単位：百万円)

	前期末	第3四半期末	増減
流動資産	38,301	43,525	+5,224
現金および預金	20,571	21,445	+873
その他	17,729	22,080	+4,350
固定資産	80,811	82,375	+1,564
有形固定資産	55,723	57,843	+2,120
無形固定資産	3,708	3,664	▲ 44
投資その他	21,379	20,867	▲ 511
資産合計	119,113	125,901	+6,788
流動負債	34,843	36,464	+1,620
短期借入金	4,050	10,050	+6,000
1年内長期借入金	6,491	235	▲ 6,255
その他	24,301	26,178	+1,876
固定負債	19,455	22,737	+3,282
長期借入金	7,014	9,939	+2,925
その他	12,440	12,797	+357
負債合計	54,299	59,202	+4,903
純資産	64,813	66,699	+1,885
負債・純資産合計	119,113	125,901	+6,788

【キャッシュフロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期	第3四半期	増減
営業キャッシュフロー	8,843	8,664	▲ 178
投資キャッシュフロー	▲ 10,736	▲ 8,095	+2,640
フリーキャッシュフロー	▲ 1,893	568	+2,462
財務キャッシュフロー	▲ 4,624	438	+5,062
借入金	▲ 2,003	2,672	+4,675
リース債務	▲ 1,346	▲ 897	+449
配当	▲ 1,268	▲ 1,334	▲ 65
その他	▲ 5	▲ 2	+2
現金及び同等物の増減	▲ 6,331	926	+7,258
現金及び同等物の期首残高	26,275	19,524	▲ 6,750
現金及び同等物の期末残高	19,943	20,639	+695

【財務関連指標】

	前期末	第3四半期末	増減
自己資本比率	53.9%	52.4%	▲ 1.4%
D/Eレシオ <small>*1</small>	0.27倍	0.31倍	+0.04倍
ネットD/Eレシオ <small>*2</small>	▲ 0.05倍	▲ 0.02倍	+0.03倍

※1 D/Eレシオ：借入金÷自己資本

※2 ネットD/Eレシオ：(借入金-現預金)÷自己資本

◆借入金+2,669百万円の要因

※短期借入金、1年内長期借入金、長期借入金の合計

成長投資に向けた借入

◆投資キャッシュフロー+2,640百万円の要因

C&C改装などの投資額の減少▲1,363百万円・前年子会社株式取得支出▲1,904百万円の影響

1. 2026年2月期第3四半期累計期間 実績	
業績概要サマリー	P3
既存店売上高前年比	P4
セグメント別売上高・営業利益	P5~6
営業利益増減要因	P7
出退店・設備投資実績	P8~9
財務関連	P10
2. トピックス	P12~14
3. サステナビリティ	P16
Appendix	P18~19

【キラメキノトリ：上海に海外1号店をオープン】

- ◆中国・上海に海外一号店となる
「煌面ノ屋 上海南京東路歩行街店」を11/13にオープン
- ・グループ会社のシナジーを活かしたスープ・たれの開発・製造
- ・10月に江苏省昆山市に現地生産体制を構築



トピックス

【はなまる：大都市圏展開拡大に向けた狭小モデル 讃岐うどん「ずずず」を東日本橋にオープン】

- ◆狭小モデルの讃岐うどん「ずずず」を10/23にオープン
 - ・本場讃岐うどんの味わいを気軽に楽しめるモデル
 - ・若年層や女性ひとりでも入りやすいモダンな雰囲気が特徴
 - ・タッチパネル式注文端末で少人数で効率的な運営



【吉野家：麺メニュー第2弾 牛肉玉ラーメン鍋膳】

- ◆吉野家は11月27日（木）より全国の吉野家店舗（一部店舗を除く）にて、冬の期間限定新商品「牛肉玉ラーメン鍋膳（とんこつ）」を販売開始
- ・卓上で加熱しながら熱々でお楽しみいただける鍋膳ならではの提供スタイルと牛肉・玉子・野菜・麺・ご飯も楽しめるボリューム感を掛け合わせることで寒い時期に満足感のある一品
- ・発売約1ヶ月で販売数100万食を突破



1. 2026年2月期第3四半期累計期間 実績	
業績概要サマリー	P3
既存店売上高前年比	P4
セグメント別売上高・営業利益	P5~6
営業利益増減要因	P7
出退店・設備投資実績	P8~9
財務関連	P10
2. トピックス	P12~14
3. サステナビリティ	P16
Appendix	P18~19

サステナビリティ

【日本食糧新聞社制定「第34回食品安全安心・環境貢献賞」を受賞】
- 過熱蒸煎機を活用したタマネギ端材のアップサイクル -

- ◆当社東京工場で実施している「過熱蒸煎機を活用したタマネギ端材のアップサイクル」の取り組みに対する評価
 - ・吉野家の牛丼の主要食材である玉ねぎの加工工程で発生する端材を乾燥・粉末化し、新たな食品へとアップサイクルすることで食品廃棄物の削減と事業価値の向上を両立
 - ・外食産業における新たな方向性を明示



1. 2026年2月期第3四半期累計期間 実績	
業績概要サマリー	P3
既存店売上高前年比	P4
セグメント別売上高・営業利益	P5~6
営業利益増減要因	P7
出退店・設備投資実績	P8~9
財務関連	P10
2. トピックス	P12~14
3. サステナビリティ	P16
Appendix	P18~19

セグメント別実績

(単位：百万円)

セグメント	売上高				セグメント利益			
	2024年2月期 第3四半期累計	2025年2月期 第3四半期累計	2026年2月期 第3四半期累計	前年差	2024年2月期 第3四半期累計	2025年2月期 第3四半期累計	2026年2月期 第3四半期累計	前年差
吉野家	93,543	102,109	111,495	9,385	5,871	5,709	4,964	▲744
はなまる	21,929	23,190	24,815	1,625	1,442	1,841	1,988	146
海外	20,183	21,127	21,537	410	1,766	1,149	1,500	350
その他	5,094	7,259	10,821	3,561	205	324	529	205
調整額	▲1,857	▲1,934	▲2,040	▲105	▲3,184	▲3,349	▲3,424	▲74
合計	138,892	151,751	166,628	14,877	6,101	5,675	5,558	▲116

【売上高】

- ◆ ラーメン事業前年差+3,464百万円（前年比168.6%）
※ラーメン事業のその他セグメントに占める割合…78.6%

【セグメント利益】

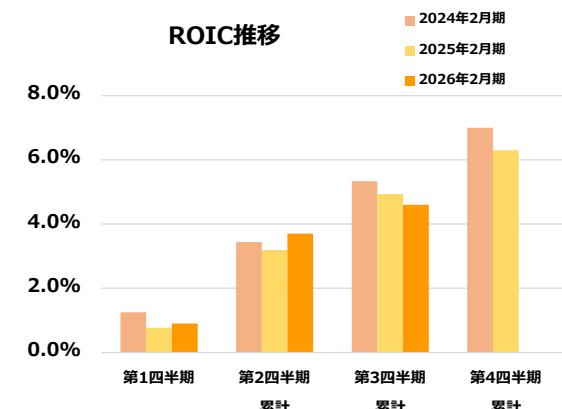
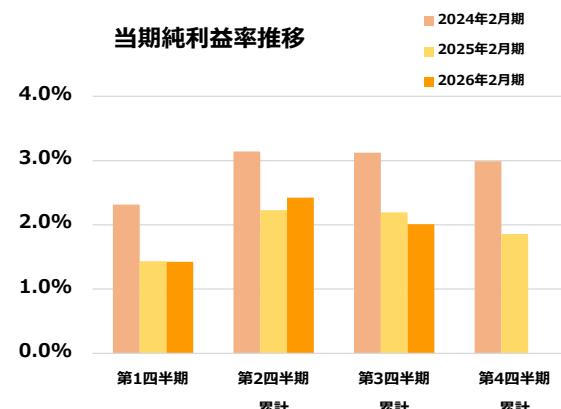
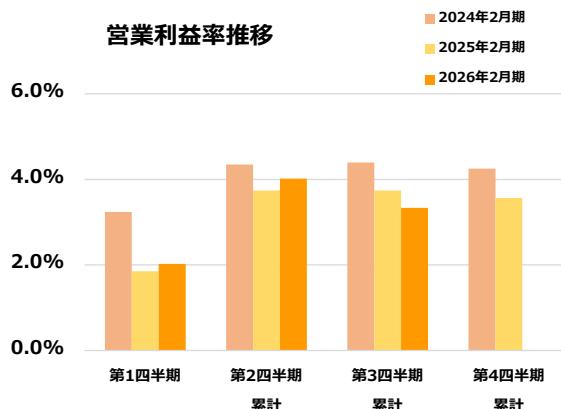
- ◆ その他：ラーメン事業前年差+204百万円（前年比185.2%）
※ラーメン事業のその他セグメントに占める割合…83.7%

業績推移（3年間）

(単位：百万円)

科目	2024年2月期／第3四半期累計		2025年2月期／第3四半期累計		2026年2月期／第3四半期累計	
	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比
売上高	138,892	111.3%	151,751	109.3%	166,628	109.8%
販管費	83,619	106.2%	91,832	109.8%	98,092	106.8%
営業利益	6,101	309.8%	5,675	93.0%	5,558	97.9%
当期純利益	4,338	75.1%	3,331	76.8%	3,346	100.5%
総資産額	113,168	102.3%	115,392	102.0%	125,901	109.1%
純資産額	60,103	109.0%	63,561	105.8%	66,699	104.9%
営業利益率	4.4%	278.2%	3.7%	85.1%	3.3%	89.2%
当期純利益率	3.1%	67.4%	2.2%	70.3%	2.0%	91.5%
EBITDA	10,802	161.5%	10,721	99.2%	11,268	105.1%

※EBITDA：営業利益 + 減価償却費およびのれん償却費



本資料に関するご注意

本資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。

それら将来の計画予測数値などは、現在入手可能な情報を元に、当社が
計画・予測したものであります。

実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画とは異なる場合があり、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報
提供者は一切責任を負いませんので、ご承知おきください。

株式会社吉野家ホールディングス